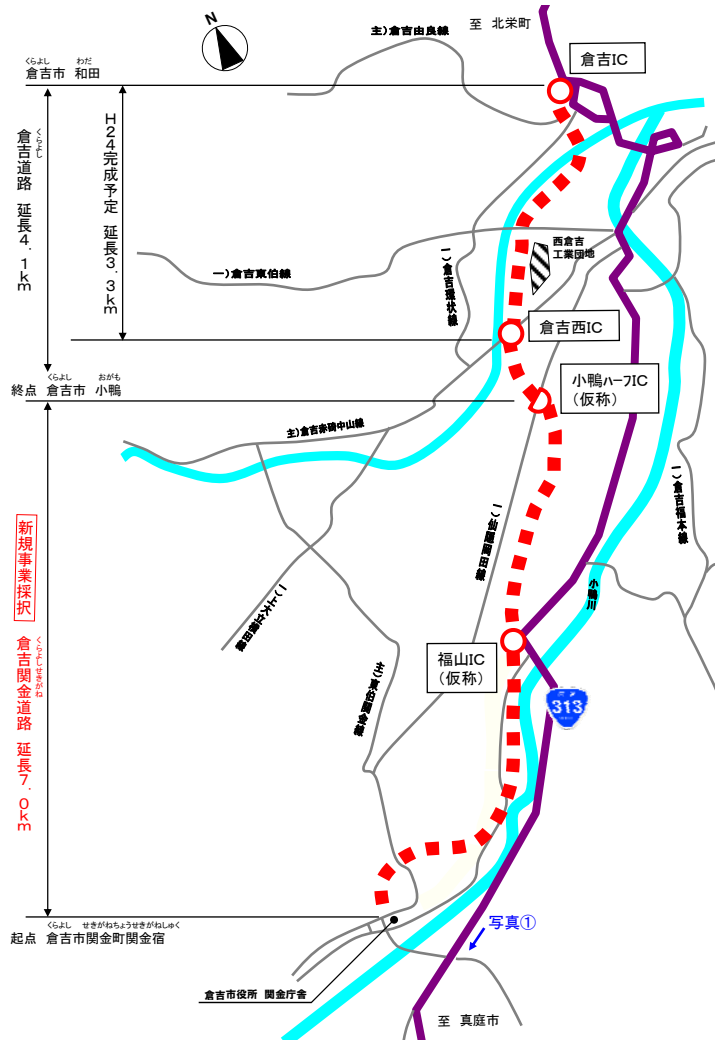
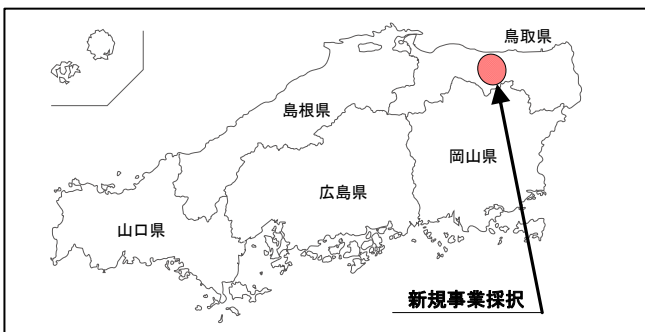


一般国道313号 倉吉関金道路（鳥取県）

- 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

新規事業採択

「倉吉関金道路」は、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部を構成し、平成19年3月に供用開始した北条倉吉道路及び事業中の倉吉道路と一体となって鳥取県と岡山県の連携強化を図るとともに、一般国道313号の倉吉市内の線形不良等の交通隘路区間の解消や渋滞の解消を目的とした延長約7.0kmの自動車専用道路です。



現道の状況



【写真①】 線形不良箇所（国道313号）

期待される整備効果

- 鳥取県中部地方生活圏から中国横断自動車道岡山米子線湯原ICへのアクセス性が向上するとともに、基幹道路である一般国道9号へ北条倉吉道路を介し連結することで、生活圏・交流圏の拡大や高速性・定時性の確保を図ります。
- 特産品であるスイカを出荷している農業施設や電子機器製品等を生産している西倉吉工業団地からのアクセスが向上することにより、物流の円滑化が図られ、地域経済の活性化が期待されます。
- 家屋が連担した現道部分の交通量が減少することで、安全性の向上、交通渋滞の緩和が図られ、さらに緊急時・災害時の安定した物資輸送等に寄与します。

